

SYSTEM FOR ADJUSTING DIFFERENCE OF FUNCTION GENERATION BETWEEN PROGRAMS

Patent Number: JP63280332
 Publication date: 1988-11-17
 Inventor(s): KOSAKAI TAKAO
 Applicant(s): NEC CORP
 Requested Patent: ☐ JP63280332

COPY OF PAPERS
 ORIGINALLY FILED

Application Number: JP19870116154 19870512
 Priority Number(s):
 IPC Classification: G06F9/06 ; G06F11/00
 EC Classification:
 Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To perform processings in an operatable function range even in case of combination between programs different in function generation by gathering individual program function definition information before processings to adjust the difference of function generation.

CONSTITUTION: Before processings, a gathering means 2 obtains function definition information 5 of a program B. A function generation difference detecting means 1 of a program A operates logical AND between function information corresponding to function definition information 4 of the program A and that to function definition information 5 of the program B and obtains function control information 6. A distributing means 3 transfers this information 6 to the program B as function control information 7. Thereafter, functions B and C can be operated in accordance with respective function control information though programs A and B perform processings in liaison with each other; and thus, processings of both of programs are performed in an operatable function range even in case of combination of programs different in function generation.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-280332

⑬ Int.Cl.⁴

G 06 F 9/06
11/00

識別記号

3 1 0
3 1 0

庁内整理番号

E-7361-5B
N-7368-5B

⑭ 公開 昭和63年(1988)11月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 プログラム間機能世代差調整方式

⑯ 特 願 昭62-116154

⑰ 出 願 昭62(1987)5月12日

⑱ 発 明 者 小 堺 隆 男 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内
⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号
⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発 明 の 名 称

プログラム間機能世代差調整方式

特 許 請 求 の 範 囲

複数のプログラムの連係で機能を実現している、個々のプログラムを任意の機能世代のものと入れ替えた処理システムにおいて、個々のプログラムのそれぞれの機能の有無を表示する機能定義情報を処理に先立って収集する収集手段と、収集された機能定義情報のそれぞれを複数のプログラムのすべてについて対応する機能ごとに論理的な積をとる機能世代差検出手段と、その処理結果として得られる機能制御情報を配布する配布手段とを備えたことを特徴とするプログラム間機能世代差調整方式。

発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明は複数のプログラム間での相互の機能世代の差の調整を行う方式に関する。

(従来の技術)

従来、複数のプログラムの連係で機能を実現しているシステムの場合、それぞれのプログラム間の機能世代の差によって障害が発生しないように、すべてのプログラムを同一の機能世代のもので統一して動かしていた。

(発明が解決しようとする問題点)

しかしながら、複数のコンピュータシステムにプログラムが分散実装されている場合、各個のシステムの運用の都合上、同時にプログラムの機能世代の交替が行えない場合がでてくる。この場合、例えば、一方は新しい機能世代のものに交替した為、新機能が動くが、他方は以前の機能世代の為、双方を合わせて旧機能の処理を行っても、処理が正常に行われない機能が出現し、しかも処理を実施してみないと判定できないという現象が生じる。

本発明の目的は、上述の欠点を除去したプログ

ラム間機能世代差調整方式を提供することにある。

〔問題点を解決するための手段〕

本発明のプログラム間機能世代差調整方式は、複数のプログラムの連係で機能を実現している、個々のプログラムを任意の機能世代のものと入れ替えた処理システムにおいて、個々のプログラムのそれぞれの機能の有無を表示する機能定義情報を処理に先立って収集する収集手段と、収集された機能定義情報のそれぞれを複数のプログラムのすべてについて対応する機能ごとに論理的な積をとる機能世代差検出手段と、その処理結果として得られる機能制御情報を配布する配布手段とを備えて構成される。

〔実施例〕

次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

第1図を参照すると、本発明の一実施例は、プログラムAとプログラムBとの2個のプログラムに、機能世代差検出手段1と、収集手段2と、配

情報7として渡す。

この後、プログラムAとプログラムBは連係して処理を行うが、それぞれ自身の持つ機能制御情報6または機能制御情報7に従って機能Bおよび機能Cは動作可能であり、機能Aおよび機能Dは動作不能として処理を行う為、異なった機能世代のプログラム同士の組み合わせであるにもかかわらず、双方が動作可能な機能範囲で処理が行える。

以上述べた本実施例では、2個の連係したプログラムを備えたコンピュータシステムでの処理に関するプログラム間機能世代差調整方式が説明されているが、3個以上の連係したプログラムを備えたコンピュータシステムの処理に関する場合でも同様の考え方でよい。ただし、1個のプログラムを備えたコンピュータシステムに機能世代差検出手段をおき、このプログラムを備えたコンピュータシステムと他のプログラムを備えたコンピュータシステムとの間にそれぞれ収集手段と配布手段とを設ける必要がある。

布手段3と、機能定義情報4・5と、機能制御情報6・7とから構成されている。

次に、第1図における動作を詳細に説明する。プログラムAとプログラムBとは通信回線を介して連係してある機能を実現しており、その機能は機能A～Dを含む幾つかの集合から成っている。

プログラムAは機能定義情報4で“1”が表示されている機能Bと機能Cを実装している。プログラムBは機能定義情報5で“1”が表示されている機能A～Dを実装している。従って、2個のプログラムは機能世代が異なる。機能DはプログラムBの機能世代で新規に追加された機能である。

処理に先立ち、収集手段2はプログラムBの機能定義情報5を得る。プログラムAの機能世代差検出手段1は、プログラムAの機能定義情報4とプログラムBの機能定義情報5に対応する機能情報のそれぞれについて論理的な積をとる。その結果得られたものが機能制御情報6である。配布手段3は機能制御情報6をプログラムBに機能制御

〔発明の効果〕

以上説明したように本発明は、複数のプログラムの連係で機能を実現しているシステムで、異なった機能世代のプログラム同士の組み合わせであるにもかかわらず双方が動作可能な機能範囲で処理が行えるという効果がある。

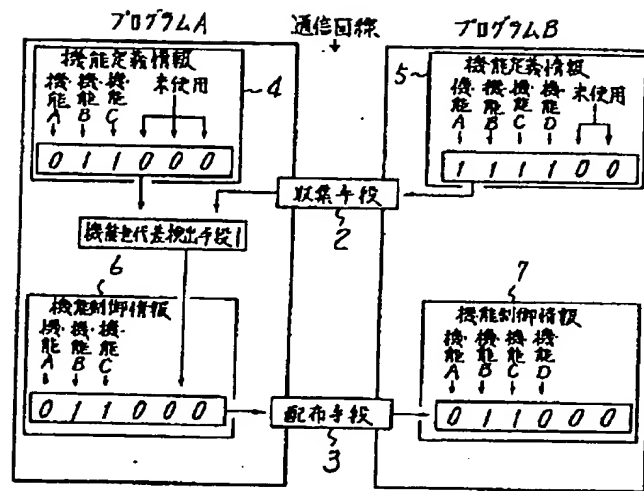
図面の簡単な説明

第1図は本発明のプログラム間機能世代差調整方式の一実施例の構成を示すブロック図である。

1…機能世代差検出手段、2…収集手段、3…配布手段、4・5…機能定義情報、6・7…機能制御情報。

代理人 非理士 内 原

合印



第 1 図